

第5回奈良市バリアフリー基本構想推進協議会会議録

開催日時	令和元年5月29日（水）午前10時から12時まで		
開催場所	はぐくみセンター1階ボランティアインフォメーションセンター会議室		
出席者	委員	三星委員、室崎委員、矢野委員、内藤委員、松本委員、元山委員、東浦委員、大曾根委員、嶋田委員（代理）、山本委員、山田委員（代理）、西本委員、梅谷委員（代理）、村上委員（代理）、中岡委員（代理）、松尾委員、今中委員（代理）、植田委員、米浪委員、木村委員（代理）、荻田委員 【計21人出席】（欠席委員：江崎委員、高見委員）	
	事務局	福祉政策課：伯耆課長、森西課長補佐、西浦係長、元根係員、中村係員 都市政策課：西窪係員	
開催形態	公開（傍聴人 0人）	担当課	福祉部 福祉政策課
議題 又は 案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの経緯 2 法改正とマスタープランについて 3 今後のスケジュール 		
決定又は 取り纏め 事項	<p>これまでの奈良市バリアフリー基本構想及び奈良市バリアフリー特定事業計画について説明を行い、法改正内容と移動等円滑化促進方針（マスタープラン）について説明を行った。今年度マスタープランを策定していくことを決定した。</p>		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>1 開会挨拶</p> <p>2 これまでの経緯</p> <p>奈良市バリアフリー基本構想及び特定事業計画について</p> <p>3 法改正とマスタープラン</p> <p>平成30年改正「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の改正内容と新たに創設された移動等円滑化促進方針（マスタープラン）制度について</p> <p>4 今後のスケジュール</p> <p>JR奈良駅近鉄奈良駅、大和西大寺駅、八条大安寺の3地区を促進地区として指定し、マスタープランを今年度策定していく旨を決定。</p> <p>【マスタープランについて】</p> <p>・三星会長：社会の状況が変わっている中で、これまでの枠組みにとらわれず、重点整備地</p>			

区外の話や知的・精神・発達障がい者に向けたバリアフリー、観光のバリアフリー、地域福祉計画との整合などを包含した計画としてほしい。

【JR・近鉄奈良駅周辺について】

- ・松本委員：東大寺の南大門周辺にトイレが整備されていない。
- ・三星会長：民間商業施設にお願いしてトイレの利用を認めてもらったり、近隣の公共施設のトイレを利用できるようにするなど、周辺施設と連携しながら検討してほしい。

【駐車場について】

- ・松本委員：コインパーキングを利用した時、音声で説明があり、聞こえないため困っているうちに通常の料金よりも200円損したことがある。聴覚障がい者のために字幕を付けてほしい。

【現行の基本構想について】

- ・矢野委員：基本構想策定後の5年間でどれほど改善されたか、現地視察・体験をしてはどうか。
- ・山本委員：基本構想によってどれほど町が変わったのか、アピールできるような資料を作ってはどうか。
- ・三星会長：おもてなし認定制度については、何らかの形で進めることが必要。

【音響信号について】

- ・内藤委員：重点整備地区外の地域の音響信号の整備は難しいのか。
- ・村上委員（代理）：年間の整備できる信号数の上限や周辺住民からの音への苦情の問題があり、全て整備することは難しいが、必要な場所には整備していく。

【宿泊施設のバリアフリー化について】

- ・嶋田委員（代理）：旅館はバリアフリー化に費用がかかるため、バリアフリー化を行う事業者への補助を行ってはどうか。
- ・室崎副会長：旅館ごとにどんな整備がされているか情報発信できれば利用者側が選んで泊まることができる。すべての施設をフルスペックで整備しなくてもよいのではないか。

【子育て環境について】

- ・元山委員：子供たちを育てるお母さんへのバリアフリーも大事な視点である。奈良市は、公共交通機関が使いにくいと、車で移動することが多い。トイレの中におむつ替えスペースがあるが、今のお母さんたちは潔癖であるため嫌がっている。授乳スペースにおむつを替えられるスペースを設けてはどうか。マタニティマークを付けていると、嫌がらせを受けることもあるため、こころのバリアフリーが重要ではないか。